

## ラマの獣舎

ラマは、標高約3千坪の南米アンデス地方で家畜として飼われているラクダの仲間です。血液中のヘモグロビンの酸素結合能力が高いため、標高の高い場所でも高山病にならないといわれています。

そのラマの生態や生息環境に少しでも近づけるために、10月下旬に今まで殺風景だった運動場を改善することにしました。標高3千坪を再現

# 飼育員 日誌

長野・須坂市動物園

するのは、さすがに難しかったのです。が、丘を作り、上り下りできるような傾斜をつけました。また、石垣などに使われる間知石けんちいしを丘の縁際に

## 生息地まねリフォーム

設置することで丘が崩れるのを防止し、植物を入れて生息地に近づけました—写真。

当園のラマ「ココア」が初めて丘を目の前にしたときは、不思議そうな様子でした。しかし、餌を設置すると少し警戒しながらも丘の上で食べতেくれました。おおよそ完成した獣舎ですが、今後もより良い環境をつくっていきたいと思います。新しくなった獣舎でどんな行動をしているか、ご来園の際はぜひ観察してみてくださいませ。

